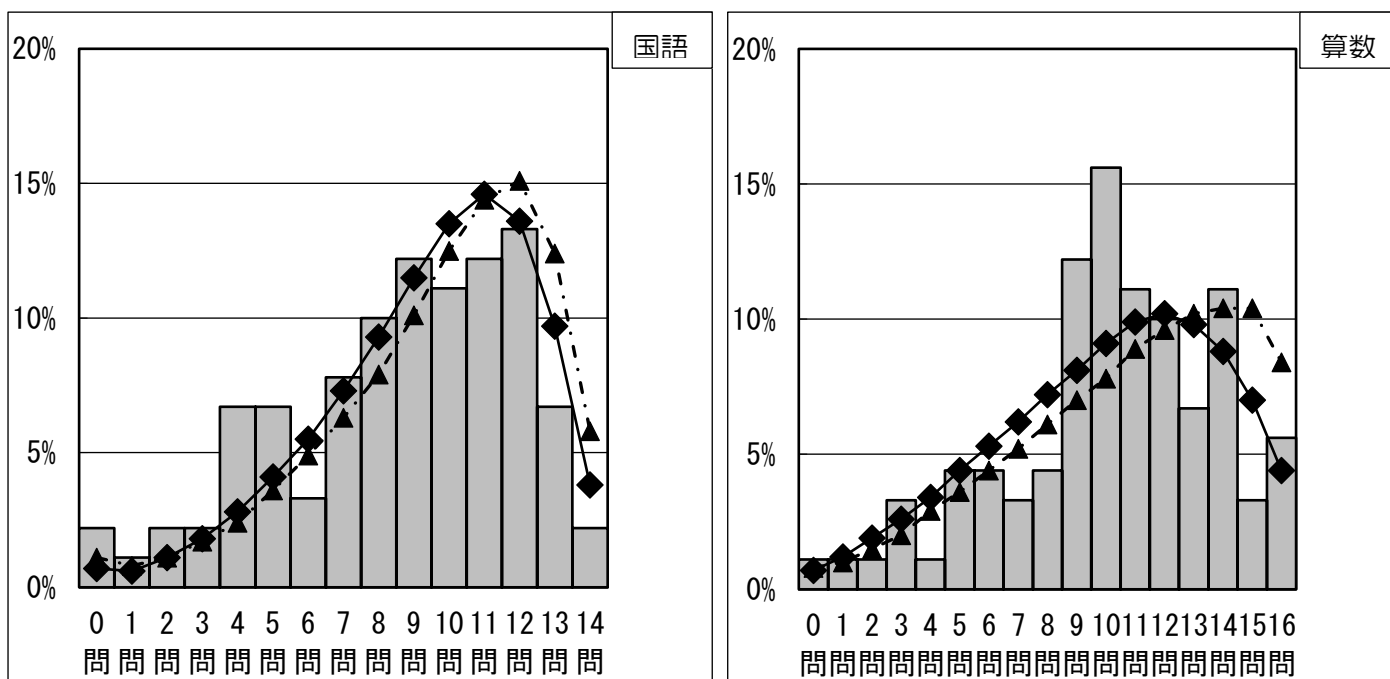


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（6年）

江戸川区立第六葛西小学校

正答数分布グラフ(横軸：正答数、縦軸：割合)【棒：本校、▲：東京都(公立)、◆：全国(公立)】より



平均正答率は、国語は本校61%、東京都69%、全国67.2%、算数は本校63%、東京都67%、全国62.5%となっており、国語では、東京都や全国の平均を下回り、算数では、ほぼ全国平均でしたが東京都の平均と比較すると4%下回る結果となりました。

国語では、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうか」という「書くこと」に関する内容や「漢字を文章の中で正しく使うことができるかどうか」「敬語を理解しているかどうか」という「言葉の特徴や使い方に関する事項」で正答率が低くなっています。与えられた情報から、必要な情報を抜き出したり、その情報を使って自分の考えをまとめたりしていく力を養っていきます。算数では、「底辺と高さは等しいが形の違う三角形について、面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題」において正答率が14.4%と非常に低く、国語の結果と同様に、言葉で説明する問題に課題が顕著にみられました。立式の根拠を説明できるように、言葉で表現する活動を意図的に取り入れた学習活動を行っていきます。

児童質問紙の集計結果より

「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問に「ほぼ毎日」と回答した児童は46.7%で、東京都の平均より13.5%高く、全国平均に至っては18.5%も高い結果となりました。本校では、校内研究授業のテーマに『主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり』～ICTの効果的な活用を通して～』を掲げて3年目を迎えています。その研究の成果が表れたものと考えます。しかしながら、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という質問に対して肯定的な回答した児童は71.1%で、東京都78.3%、全国78.8%に比べると低い結果となっています。今後は、課題解決のための方法を工夫できるよう、多様な考え方や方法の提示、児童同士で共有する時間をこれまで以上に設定するなどして、問題解決力の向上を図って参ります。